美祢市立図書館基本構想

2021 年 11 月 美祢市教育委員会

美祢市立図書館基本構想 目次構成

はじめに	
美祢市立図書館基本構想策定の趣旨	01
第1章 美祢市の図書館の現状と課題	
1. 美祢市の図書館の現状	02
2. 美祢市の図書館の運営状況と利用状況	04
3. 美祢市の図書館の課題	08
4. 美祢市の3つの図書館の運営における課題	12
第2章 新しい美祢市立図書館が目指す姿	
1. 基本理念	13
歴史(むかし)をたずね、	
現在(いま)を知り、	
未来(あした)を育む、	
わたしたちの「ひろば」	
2. 新しい美祢市立図書館が担う5つの役割	14
役割1 資料や情報をわかりやすく提供する	
役割2 多様な学びの活動を支援する	
役割3 地域のくらしを支える	
役割4 地域の歴史と魅力を伝える	
役割5 楽しいみんなの居場所を提供する	
3. 新しい美祢市立図書館づくりのための4つの取組	16
取組1 市民みんなでつくる、みんなで支える	
取組2 専門スタッフ等による支援体制を充実させる	
取組3 ICT 環境の整備によりネットワーク体制を整える	
取組4 まちなかにつくり、他の施設との融合を図る	
4. 新しい美祢市立図書館の構成図	18

第3	章	新しい美祢市立図書館の施設整備に関する考え方	
1.	. 新	しい美祢市立図書館の構成	19
2.	. 施	設規模	21
3.	. 中	央図書館の建設場所	22
4.	. 概	算事業費	24
5.	. 整	備スケジュール	24
第4:	章	新しい美祢市立図書館の運営・管理に関する考え方	
1.	. 図	書館の運営方式	25
2.	. 図	書館運営の基本要件	25
3.	. 運	営方式の比較	26
4.	. 美	袮システムの運営計画	27
く資	本31 ·	1 \	
			28
2.	. 美	祢市立図書館あり方検討委員会ワークショップの概要	29
く資	米 斗一 2	2>	
	Щ	口県内の市町の図書館状況の一覧	35



はじめに

美祢市立図書館基本構想策定の趣旨

2008年に1市2町が合併してできた美祢市は、合併以前それぞれの自治体が運営していた、旧美祢市の図書館、旧美東町の図書館、旧秋芳町の図書館を引き継ぐ形で、3館体制で図書館を運営しています。

その中心となる美祢図書館の建築は、旧耐震基準で建てられており、老朽化が進行し、耐震強度が不足しているという状況にあります。また、施設の印象が暗く、閲覧席などの機能も不足しており、安全性と利便性の確保という視点からも施設の更新が喫緊の課題となっています。

また、旧耐震基準で建てられている美東センターの1室にある美東図書館や、秋芳 図書館も、それぞれ耐震強度が不足し、老朽化が進行していることもあり、総合支所 庁舎と、公民館と、図書館を合築し、複合化を図りながら、美東地域、秋芳地域、そ れぞれの新しい拠点施設をつくる計画が進行しています。

このように、3つの図書館が同時に施設の更新を検討しなければならない状況にあります。それは見方を変えると、これからの美祢市をつくっていく上で望ましい図書館のあり方について、全市を挙げて考えるまたとない機会が目の前にあると考えることもできます。

かつて、堅苦しいイメージであった図書館は、今日、地域社会の中で求められるあり方が大きく変わりつつあります。激しく変化していく現代社会において、自らがくらす地域の歴史や自然、大地の恵みを理解し、新しい知識や情報を吸収し活用する能力や、課題を発見し解決する力といった、自らの未来を切り開くための「考える力」や「生きる力」の育成が大きな課題となっています。また、そうした力の育成が、地域の将来を担う人材を育てていくことにつながっていきます。

そのために重要な役割を担うのが図書館です。図書館は、資料・情報を求める全ての市民の要求にこたえ、その生涯学習のさまざまな手助けをするところです。子どもに限らず、大人にとっても、図書館の持つ多様な機能を活用することで、自らのくらしを豊かにしていける可能性が拡がっていきます。

本基本構想は、高齢化、少子化が進行している本市にあって、子どもたちの未来を 育み、次世代につながる持続可能なまちをつくるために、新しい図書館づくりのあり 方について「美祢市立図書館あり方検討委員会」で行ったワークショップなどの成果 を基に、基本的な考え方についてまとめたものです。

なお、今後、市全体のまちづくりや財政計画との調整が必要となります。

第1章 美祢市の図書館の現状と課題

1. 美祢市の図書館の現状

美祢市には、美祢市立美祢図書館、美祢市立美東図書館、美祢市立秋芳図書館の、3 館の市立図書館があります。それぞれ、合併前の美祢市立図書館、美東町立図書館、秋 芳町立図書館が、平成20年3月の1市2町合併によって市立図書館として改組された ものです。

美祢市立図書館の設置の目的は、「市民の生涯学習の進展及び文化の発展に寄与すること」(平成20年美祢市条例第100号)です。美祢図書館を中心として、美東図書館、秋芳図書館の3館がネットワークで結ばれており、公民館図書室や学校図書館と連携を図っています。

1)美祢市の図書館

〇美祢市立美祢図書館

美祢市立図書館の中心的役割を担う図書館。1973年に建てられたRC(鉄筋コンクリート)造の建物です。約12万冊の蔵書があるほか、視聴覚室も備えており、絵本の読み聞かせ会、工作教室、歴史講座などの、市民団体による活動も行われています。



美祢市立美祢図書館外観

〇美祢市立美東図書館

美東図書館は、美東センター内に設置されています。美東センターは1980年に建設されたRC造の建物で、図書館には約3万冊の蔵書があります。新美東総合支所庁舎等整備に伴い、美東総合支所、大田公民館とともに、新施設に複合される予定です。



美東センター外観

〇美祢市立秋芳図書館

1969年に建設された RC 造の建物で、約3万冊の 蔵書があります。 新秋芳総合支所庁舎等整備に伴 い、秋芳総合支所、秋吉公民館とともに新施設に複 合される予定です。新施設の完成後も既存建物は解 体せず、収蔵庫等として活用する予定です。



美祢市立秋芳図書館外観

2) 公民館図書室

各地区公民館内には、市民がわざわざ図書館に足を運ばなくても、気軽に図書にふれることができるように、図書室や図書コーナーが設置されています。図書は、美祢図書館から各地区公民館に向けて、団体貸出として定期的に配送されるものです。住民は、これらの本を借りることや、公民館を窓口として、個別に本を取り寄せることも可能です。

○各図書館、公民館の建築概要及び蔵書数、貸出冊数

美祢図書館、美東図書館、秋芳図書館および市内の公民館の規模、建築年、蔵書冊数などを表に整理しました。なお、美祢市民会館および秋吉公民館には図書室等がないため、表からは除外しています。

分類	地域	施設名称	形態	面積(㎡) [()内は 建物全体]	建築年	構造	階数	蔵書 冊数 *1	貸出 冊数 *2	備考	
	美 祢	美祢図書館	独立 建物	900. 84 (900. 84)	1973	RC	2	122, 654	66, 300		
営書館	美東	美東図書館 (美東センター内)	図書室	110. 96 (1, 595. 43)	1980	RC	2	30, 549	1, 795		
ДД	秋 芳	秋芳図書館	独立 建物	335. 55 (335. 55)	1969	RC	1	31, 131	8, 849		
		伊佐公民館	図書室	32 (598. 38)	1983	RC	2	700	116		
	美	於福公民館	図書室	20 (830. 12)	1978	RC	2	900	12		
	袮	豊田前公民館	図書室	26 (808. 64)	1979	RC	2	1, 260	不明		
			厚保公民館	図書室	30 (826. 93)	1979	RC	2	1, 320	22	
		赤郷公民館	図書室	12 (603. 7)	1998	S	1	3, 420	12		
公民	美 東	綾木公民館	図書 コーナー	13 (558. 43)	1998	W	1	1, 150	70	ロビーに図書コーナ ーが設置されている	
館		真長田公民館	図書 コーナー	7 (540. 50)	1995	s	1	1, 240	109	ロビーに図書コーナ ーと談話コーナーが 設置されている	
			嘉万公民館	図書室 ・ 図書 コーナー	75 (1, 213. 00)	1976	RC	2	7, 030	239	図書室のほかに、談話室にも図書コーナ 一が設置されている
	秋芳	別府公民館	図書 コーナー	_	1994	RC	2	100	24	エントランス付近に 図書が置いてある。 本を読むスペースは ない	
		岩永公民館	図書 コーナー	— (784. 72)	1983	RC	2	20	2	廊下に図書が置いて ある。本を読むため のスペースはない	

^{※1} 図書館の蔵書冊数は2020年8月時点、公民館の蔵書冊数は2018年3月時点のデータ

^{※2} 図書館の貸出冊数は 2020 年8月時点、公民館の貸出冊数は 2018 年3月時点のテータ

2. 美祢市の図書館の運営状況と利用状況

1)美祢市の図書館の蔵書の貸出数、利用登録者数の比較

「日本の図書館 統計と名簿 2020」を基に、美祢市の図書館の利用登録者数や蔵書数、貸出数の比率等(美祢市立美祢図書館、美東図書館、秋芳図書館の合計数)を算出しました。公開されている県内の市町の図書館の統計資料(注1)から算出した平均値と比較し、美祢市の図書館の利用状況を整理しました。

項目	山口県内の 市町の平均値 (注1)	美祢市 (3 館の合計値)	美祢市立 美祢図書館	美東図書館	秋芳図書館
①人口(千人)	76. 6	25	-	-	-
②登録者数 (千人)	46. 0	4. 8	3.7	0. 4	0. 7
登録者数割合 (%) (②÷①×100)	60. 0	19. 2	-	-	-
③蔵書数(千冊)	317	184	123	31	31
1 人当り蔵書数 (冊) (③÷①)	4. 14	7. 36	-	-	-
④貸出冊数 (千冊)	446	69	60	500 冊以下	9
1人当り貸出冊数(冊) (④÷①)	5. 82	2. 76	-	-	-
利用登録者1人当り 貸出数(冊)(④÷②)	9. 70	14. 38	-	-	_
⑤図書購入費 (千円)	20, 013	7, 774	6, 298	714	762
⑥職員数(人) (注2)	31	9	4	2	3
1000 人当り職員数 (人) (⑥÷①)	0. 40	0. 36	-	-	-

(注1) 「日本の図書館 統計と名簿 2020」を基に、公開されている県内の18市町の平均値を算出 【詳細は<添付資料>p.35参照】

上記の比較により、美祢市の市民1人当たりの蔵書数(7.36 冊)は多いが、市民1人当たりの貸出数(2.76 冊)は低い数値となっています。その原因として、市内人口に対して利用登録者数の比率(19.2%)が低いことが考えられます。一方で、利用登録者1人当たりの貸出数は(14.38 冊)と多いことから、利用登録者は日常的に図書館を利用していることが分かります。

また、図書館に配置されている職員数に関しては、市民 1000 人当りの職員数は (0.36人) となっており、図書館専門の職員の確保が課題であると考えられます。

⁽注2) 職員数に関しては、専任、兼任、非常勤を合わせた数値とする

2) 世代別利用登録者の比較

令和3年度末時点(注)で、美祢市立美祢図書館、美祢市立美東図書館、美祢市立秋 芳図書館における、世代別、図書館利用登録者の割合を算出し、以下の表に整理しま した。

年齢区分	市内人口 (人)	図書館利用登録人数 (人)	図書館利用登録割合(%)
6 歳以下 (幼児)	685	101	14. 74
7-9 歳 (小学校低学年)	416	191	45. 91
10-12 歳 (小学校高学年)	475	289	60. 84
13-15 歳 (中学校)	549	343	62. 48
16-18 歳 (学生)	509	296	58. 15
19-22 歳	731	195	26. 68
23-29 歳	1, 056	372	35. 23
30-39 歳	1, 661	495	29. 80
40-49 歳	2, 556	697	27. 27
50-59 歳	2, 876	550	19. 12
60-69 歳	3, 761	629	16. 72
70 歳以上	7, 865	790	10. 04
合計	23, 140	4, 948	21. 38

(注) 市内人口については、令和3年3月末時点での住民基本台帳による。 利用登録人数は、令和3年3月美祢図書館調べによる

この表より、小学校低学年(7-9歳、10-12歳)、中学生(13-15歳)、及び、高校生(16-18歳)に関しては、高い比率で、図書館利用登録を行っていますが、一方で、人口割合が多いシニア層(50-64歳)、シルバー層(65歳以上)の利用登録比率が特に低くなっていることが分かります。

3) 美祢市の図書館の蔵書の状況

図書館 10 進法分類による比率を、各市町村の図書館年報を基に、山口県内の市町の 図書館の平均値、同規模の人口で、同規模の蔵書数を有する長門市、柳井市との比較 を以下に示します。

分類		山口県内の 市町の平均	美祢市		長門市 (同規模の人口、 同規模の蔵書数)		柳井市 (同規模の人口、 同規模の蔵書数)	
		比率(%)	蔵書数	比率 (%)	蔵書数	比率 (%)	蔵書数	比率 (%)
0	総記	2. 46	4, 345	2. 36	2, 628	1. 54	2, 266	1. 93
1	哲学	2. 94	4, 919	2. 67	5, 554	3. 25	2, 980	2. 53
2	歴史地理	6. 46	18, 227	9. 89	9, 722	5. 68	7, 036	5. 98
3	社会科学	9. 54	16, 480	8. 94	14, 399	8. 42	9, 093	7. 73
4	自然科学	5. 51	7, 231	3. 92	10, 886	6. 36	4, 775	4. 06
5	工業	6. 57	8, 820	4. 78	8, 677	5. 07	4, 840	4. 12
6	産業	2. 61	4, 277	2. 32	4, 633	2. 71	2, 220	1. 89
7	芸術	6. 52	7, 162	3. 89	9, 342	5. 46	6, 194	5. 27
8	言語	1. 29	2, 637	1. 43	2, 500	1. 46	1, 478	1. 26
9	文学	29. 79	57, 267	31. 07	51, 816	30. 29	30, 871	26. 26
J	児童	17. 73	49, 554	26. 88	20, 036	11. 71	34, 138	29. 04
	郷土	4. 38	3, 415	1. 85	9, 192	5. 37	11, 677	9. 93
7	の他	4. 30	_	_	21, 660	12. 66	_	_
	蔵書数台	計	184, 334		171, 045		117, 568	

美祢市では、「歴史地理」、「児童書」に分類される蔵書数が比較的多い傾向となっています。一方で、「自然科学」については他の図書館に比べ、蔵書数の比率が少ないことが分かります。ジオパークを有する美祢市において、地質や化石などが分類される、「自然科学」分野の蔵書の充実化は重要であると考えられます。

4) 美祢市の図書館の受入冊数



過去5年度分の蔵書受入数 の推移を左図に示します。

2015~2018 年度について は、毎年、約4,300 冊の蔵書 の受入を行っていますが、 2019 年以降は蔵書数の更なる 減少が考えられます。

5)美祢市の図書購入費と貸出数の推移

過去5年度分の図書購入費と貸出数の推移を以下に示します。



2016年度を境に、図書購入費の減少とともに、本の貸出数も減少しています。

6) 蔵書数の比率と貸出数の比率(分類別)

美祢市の図書館で、2019 年度の分類別蔵書数の比率と貸出された図書の分類を以下 に示します。

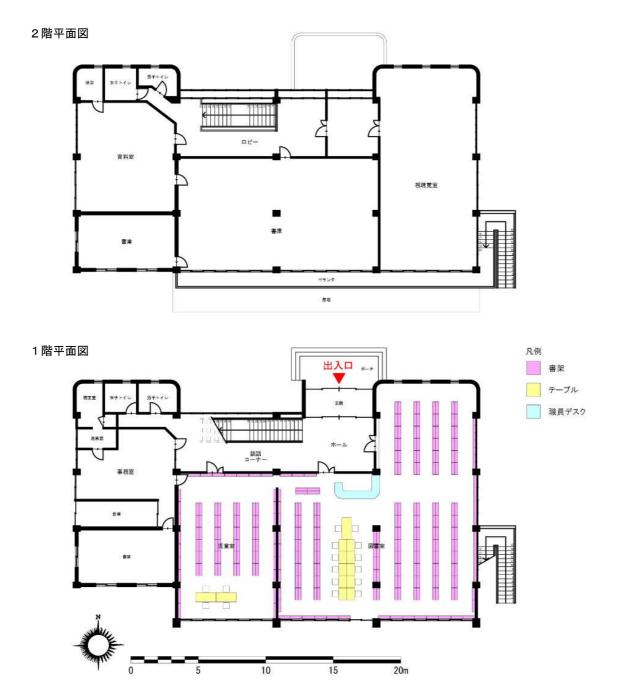


貸出数の比率は蔵書数の比率と同様に、小説などの「文学」や、児童書などの「児童」の分類が高い値となっています。また、雑誌の貸出比率が高いのも特徴です。一方で、「歴史地理」や「社会科学」に関しては、蔵書数の比率に対して、低い貸出数の比率となっています。

3. 美祢市の図書館の課題

1) 美祢市立美祢図書館

1973年に建てられた、床面積約900㎡、蔵書数約12万冊の図書館です。視聴覚室も備えており、絵本の読み聞かせ会、工作教室、歴史講座などの、市民団体による活動も行われてきましたが、施設の老朽化や、蔵書の増加により、さまざまな課題が顕在化しています。



施設の課題

- ・旧耐震基準で建てられており、地震に対する安全性が確保されていない
- ・書架が狭い間隔で配置され、圧迫感がある
- ・閲覧席が少なく、ゆっくり読書をするためのスペースがない
- ・小さな子供連れの親子が落ち着いて本を選んだり、本を読んだりするスペースがない
- ・小中高生がゆっくり学習するスペースがない
- ・ICT 環境の整備が遅れている



受付カウンター 感染症対策のため、ビニールシートで覆われている



児童書コーナー 絵本など大判の本に対して、書架の奥行きが足り ず、本がはみ出している



閲覧席が少なく、ゆっくり本を読める居場所がない



一般開架スペース書架の間隔が狭く、暗く、圧迫 感がある

2) 美祢市立美東図書館(美東センター内に設置)

美祢市立美東図書館は、美東センター内に設置されている、床面積約110 ㎡、蔵書数約30,000 冊の図書館です。面積規模に対して蔵書数が多いため、さまざまな問題が生じています。建設予定の新美東総合支所に複合される予定です。

施設の課題

- ・旧耐震基準で建てられており、地震に対する安全性が確保されていない
- ・6段程度の高い書架が狭い間隔で配置され、暗くて圧迫感がある
- ・書庫内の床に図書が積まれているなど、本の保管状況に問題がある
- ・閲覧席が少なく、ゆっくり読書をするためのスペースがない
- ・小さな子供連れの親子が落ち着いて本を選んだり、本を読んだりするスペースがない
- ・古い PC 端末が 1 台あるだけで、ICT 環境の整備が遅れている
- ・司書や専任の職員は配置されておらず、大田公民館の職員が兼務しているため、住民 に対するサービスの範囲が限られている





開架書架。6段程度の高い書架が狭い間隔で配置されており、暗くて圧迫感がある



書庫。整理できていない図書が床に積まれており、 保管状況が悪い

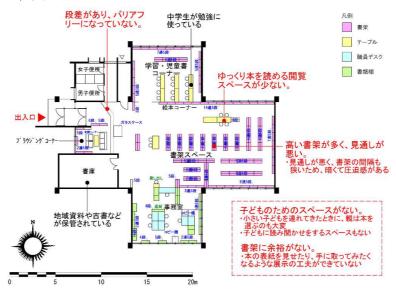
3)美祢市立秋芳図書館

1969 年に整備された、床面積約 335 ㎡、蔵書数約 30,000 冊の図書館です。古文書講 座の開設、地方文化研究会の活動支援、読み聞かせ活動等、特色ある活動を展開してき ましたが、施設の老朽化や、蔵書の増加により、さまざまな課題を抱えています。

秋芳図書館は、建設予定の新秋芳総合支所庁舎に、秋吉公民館とともに複合されます が、既存建物は解体せず、収蔵庫等として活用する予定です。

施設の課題

- ・旧耐震基準で建てられており、地震に対する安全性が確保されていない
- ・6~7段程度の高い書架が狭い間隔で配置され、見通しが悪く、暗くて圧迫感がある
- ・小さな子供連れの親子が落ち着いて本を選んだり、本を読んだりするスペースがない
- ・入口に段差があり、バリアフリーになっていない
- ・ICT 環境の整備が遅れている
- ・司書は配置されておらず、臨時採用の職員が業務にあたっているため、住民に対する サービスの範囲が限られている





れ、見通しが悪く、圧迫感がある

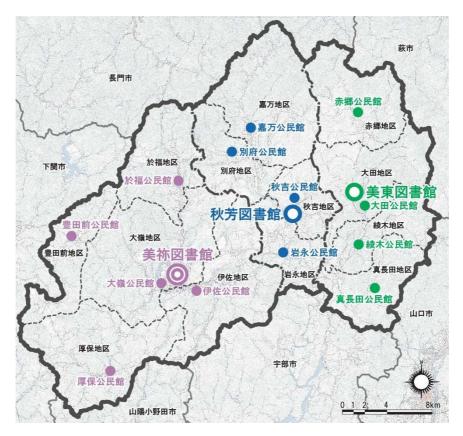


開架書架。6~7段の高い書架が狭い間隔で配置さ 絵本コーナー。小さな子どもを連れてゆっくり本を 選んだり、読み聞かせをするスペースがない

4. 美祢市の3つの図書館の運営における課題

合併の経緯の中で、現状3つの図書館が並列して運営されている状況を、3館が機動性のある一体となった図書館として、機動性のある運営体制に移行することが求められると考えられます。

また、美東図書館と秋芳図書館については図書館専門職員が配置されていないため、住民に対するサービスが限られています。市の財政状況など、総合的に判断して、3館それぞれが同様に図書館としての内容や設備を整えることは現実的ではありません。今後、3つの図書館のネットワーク体制の構築と運営の方針づくりが課題となっているといえます。



美祢市の図書館、及び、公民館のプロット図

第2章 新しい美祢市立図書館が目指す姿

美祢市にくらす私たちが、これは何だろう?これはどうすればいいんだろう?などと思ったとき、また、美祢市のことについてもっと知りたい!世界で起きていることについて知りたい!世界の最新の技術について知りたい!と思った時に、身近にあって頼りになる存在であるためには、図書館はどうあるべきかを考えます。

1. 基本理念

歴史(むかし)をたずね、 現在(いま)を知り、 未来(あした)を育む、 わたしたちの「ひろば」

歴史(むかし)をたずね、

美祢市には、秋吉台、秋芳洞など3億5千万年の悠久の時を重ねてきた地球史レベルの自然環境と、その特有の大地の上で展開されてきた豊かな暮らしの歴史があります。 美祢市立図書館は、他に類をみないこれらの固有の歴史や文化をたずね、その知恵を学べる場所を目指します。

現在(いま)を知り、

私たちがくらす現代社会は、目まぐるしく変化しています。

美祢市立図書館は、日本中、世界中の知識や最新情報を用意し、市民の様々な学びに寄り添い、応援し、お手伝いする場所になります。

未来(あした)を育む、

美祢市立図書館は、次世代を担う子ども 達に様々な読書体験を提供し、子ども達の 学びを支えます。また、全ての世代の市民 の新しい挑戦や活動を応援し、そのための 情報を提供する場所となります。

わたしたちの「ひろば」

美祢市立図書館は、赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが気軽に立ち寄れるわたしたちの「ひろば」を目指します。



2. 新しい美祢市立図書館が担う5つの役割

新しい美祢市立図書館づくりの基本理念を実現するためには、図書館が担うべき、「**役割」**を、5つに整理しました。

役割1 資料や情報をわかりやすく提供する

- ・すべての市民に資料や情報をわかりやすく 提供します。
- ・資料や情報とそれを必要とする人を結びつけるレファレンスサービスを用意します。
- ・世代を超えて、生涯を通じた学びができる 環境を備えます。
- ・地域のくらしの情報を細やかに発信します。



役割2 多様な学びの活動を支援する

- ・地域の特性を生かした体験型の学びやサークル活動を、市民協働で実践します。
- ・資料や情報の提供と関連して、講習会や研修会など、様々な文化活動を展開します。
- ・子どもの図書を充実させ、読み聞かせなど の活動を通じて、本に親しむ環境を整えま す。
- ・静かな学習室や読書室、少人数で調べもの 学習などのアクティブラーニングに対応で きる場所などを設けます。



役割3 地域のくらしを支える

- ・市民が抱える様々な課題を共に発見し、解決 するための支援を用意します。
- ・市民の新しい活動へのチャレンジを支援する 仕組みを用意します。
- ・高齢者のくらしを支援するための本や情報などを用意し、「誰も一人させないまちづくり」 に貢献します。



役割4 地域の歴史と魅力を伝える

- ・3億5千万年前から続く特異な大地の上に展開してきたまちであることの個性や魅力を理解するための情報発信を工夫します。
- ・秋芳洞、秋吉台など、ジオパークなどに関連 する資料をどこよりも充実させます。
- ・博物館や資料館、化石館などとつながる レファレンスや展示の提供により、地域固有 の文化を広く発信します。



役割5 楽しいみんなの居場所を提供する

- ・市民が目的もなくふらっと立ち寄り、ゆった り過ごせる場所を用意します。
- ・子ども達が安心して、安全に過ごせる「子ど ものシェルター」となる場所を設けます。
- ・講習会など、さまざまなイベントができる場所を提供します。
- ・世代や地域を超えた交流の拠点となる場所を 設けます。



3. 新しい美祢市立図書館づくりのための4つの取組

前述した5つの「**役割」**を担う図書館をつくりあげていくために必要な「**取組」**を4つに整理しました。この取組は、美祢市らしいみんなの図書館を実現するための根幹となるものです。

取組1 市民みんなでつくる、みんなで支える

- ・計画段階から運営段階までの様々なプロセスで、市民が力を合わせて、市民のための 図書館を協働して育てていきます。
- ・ボランティアの人材を育成し、図書館運営に当事者意識を持って関わる市民の力を集めます。
- ・お年寄りから子どもまで、暮らしの知恵を相互に伝えあい、地域づくりの拠点となる 活動を育てます。

取組2 専門スタッフ等による支援体制を充実させる

- ・市民と資料・情報をつなぐ重要な役割を担う司書・職員の適正な配置により、レファ レンスサービス等の充実した運営体制をつくりあげます。
- ・専門スタッフ等による運営体制をしっかりつくることで、市民ボランティアの支援活動が加わりやすい状況を確立し、美祢市らしい市民協働の図書館づくりが実現すると考えています。
- ・図書館便りなどの発行により、継続的な図書館情報の発信に努めます。
- ・市内の小・中学校・高等学校や、保育園、幼稚園などに必要な資料の貸し出しや、図 書室環境の整備のサポート、及び、公民館図書室の支援を行います。

取組3 ICT環境の整備によりネットワーク体制を整える

- ・ICT の活用によりネットワーク体制を整え、実空間と情報空間が融合したハイブリッド図書館として充実させます。
- ・あらゆる世代の人にとって、使いやすさに配慮した ICT 環境を整備します。
- ・県立図書館や、歴史的な流れを共有する周辺市の図書館などとの緊密な連携を図ります。
- ・中央図書館と2つの地域図書館、各地区の公民館図書室、小学校・中学校・高等学校 図書室、幼・保図書室とのネットワークにより、身近なところに届く図書サービス 「美祢システム」を構築します。
- ・DX (注) や行政のデジタル化を先導する施設を目指します。
 (注) DX: デジタルトランスフォーメーション「IT の浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させる」という概念

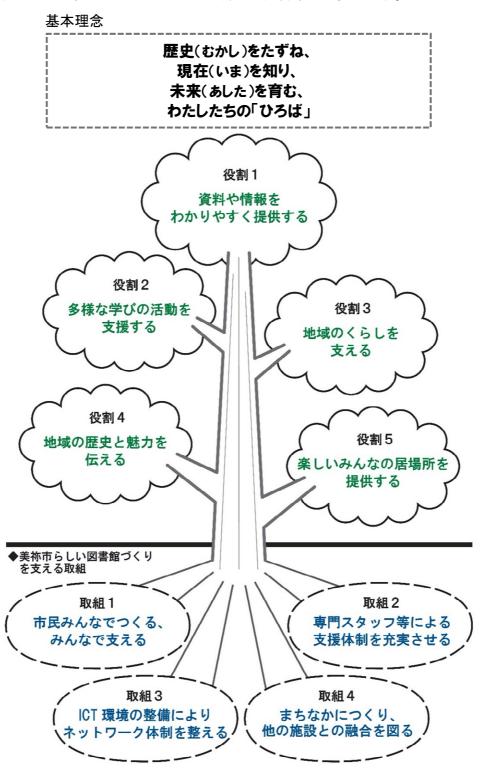
取組4 まちなかにつくり、他の施設との融合を図る

- ・駅、市役所、他の公共施設、公園などとの関係を重視し、市民が利用しやすい場所につくり、まちなかの賑わいの創出に貢献するよう努めます。
- ・関連する他の公共施設などとの複合化や運営上の融合をまちづくりの視点から検討 します。
- ・公共交通機関、自家用車、自転車、徒歩など、市民がいずれの交通手段でもアクセスしやすい場所につくり、利便性に配慮します。



4. 新しい美祢市立図書館の構成図

「基本理念」を実現するために、必要な「役割」を5つ、それを支えるための「取組」を4つに整理し、「新しい図書館の構成図」を作成しました。それぞれが、連携しながら稼働することで、わたしたちが求める新しい図書館を実現します。

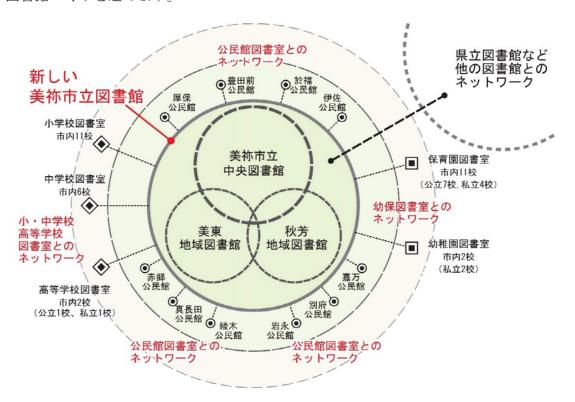


第3章 新しい美祢市立図書館の施設整備に関する考え方

1. 新しい美祢市立図書館の構成

1) 中央図書館と2つの地域図書館を中心とする、システムとしての図書館

これまでは、合併以前からの流れを受けて、美祢図書館、美東図書館、秋芳図書館、の3つの図書館が並列で運営されてきました。今後は、3つの図書館がそれぞれ同じような機能や運営内容を求めるのではなく、美祢図書館を中央図書館と位置づけ機能の充実を図り、美東図書館、秋芳図書館は、それぞれの地域の特徴を踏まえた上で、地域住民の居場所となる個性を持った地域図書館として整備します。さらに、各地区の公民館図書室、小学校・中学校・高等学校図書室、および、保育園、幼稚園の図書室が、緊密な連携を図り、全体がひとつのシステム「美祢システム」として働く図書館づくりを進めます。



新しい美祢市立図書館の構成

2) ICT 環境の整備

図書館をひとつのシステムとして円滑な運営を図るためには、検索システム、予約システム、など、誰にとっても使いやすいよう運用されることが重要であり、そのために必要な ICT 環境の整備を進めます。

○参考・図書館利用イメージ物語

中央図書館、2つの地域図書館、各公民館図書室、小学校・中学校・高等学校図書室、 幼・保図書室、が一つのシステムとして動くようになった時、図書館は、市民のくらし の中でどのように活用されるのか?そのイメージを紹介します。

〇利用イメージ物語 1

僕は、夏休みの自由研究で長登銅山について調べることにしました。今度の週末、長登銅山跡の博物館に連れて行ってもらう予定ですが、それまでに下調べをしておくようにお父さんに言われました。秋芳の地域図書館で相談したら、下調べに役立ちそうな分かりやすい本を紹介してくれました。もう少し詳しい本も、明日、中央図書館から届くように手配してもらいました。平日は、お父さんもお母さんも仕事なので、子供だけで中央図書館へは行けませんでしたが、なんとか下調べができそうです。今度の週末、博物館に行くのが待ち遠しいです。

〇利用イメージ物語2

0歳児健診の際に催されていた、ブックスタートで絵本をいただきました。今まで、どのような本を読んであげたらよいのか分からなかったので、とても助かりました。自分で絵本を借りてみようと思い、図書館に足を運んでみると、司書の方が丁寧に相談にのって下さいました。子ども図書のコーナーでは、読み聞かせの会が行われていたり、カフェには、子ども連れでお茶を飲んでいる親子が何組もいて、図書の周りの空間で子供を遊ばせることもできました。最近県外から引っ越してきたばかりですが、小さい子連れでホッとする空間が見つかって元気が出てきました。

〇利用イメージ物語3

学校で「美祢市で採掘された石灰岩の行方」について調べました。家の周りに石灰岩を採掘している山はよく見かけていますが、石灰岩が採掘された後どうなるのか考えたことはありませんでした。中央図書館のレファレンスで相談したら、石灰岩を掘り出した後、セメントなどに加工されていく過程についての分かりやすい資料が、近隣の宇部市図書館にあるということがわかり、取り寄せてもらいました。みんなで手分けして調べると、美祢市、山陽小野田市、宇部市は、石灰岩を通じて、とても強いつながりがあり、一緒に発展してきた町であることがわかりました。

〇利用イメージ物語 4

市内の農家が集まって6次産業についての勉強を始めました。当初は、自分たちが作ったものをどう加工するかについてだけ考えていましたが、図書館の司書さんに相談したところ、まず、どんなものが求められているのかを探るマーケティングという考え方が重要であるということや、加工したものの商標登録や、基準を満たす加工施設が必要であることなど、商品化するまでに多くの課題があることについて、全国の取り組みがわかる参考資料とともに紹介してもらいました。また、県に相談窓口があることも教えてもらったので、もう少し話し合いを重ねて、相談に行ってみることにします。

〇利用イメージ物語 5

今年の年長さんはみんな恐竜に夢中です。図書館に相談したら、恐竜の図鑑はもちろん、恐竜の大きさがわかる本、恐竜の一生の本、恐竜の時代に住んでいた生き物の本などたくさんの本が保育園に届きました。美祢市や近隣で見られる化石の情報もいただいたので、保護者にお伝えしたところ、早速親子で見に行ったと嬉しい報告も届きました。恐竜の折り紙や工作が掲載された本を参考に子ども達と恐竜の工作をたくさんつくりました。みんな夢中になった恐竜が主役のお話は、今度の発表会で劇にして発表します。劇の衣装や音楽につては、また図書館に相談してみようと思っています。

〇利用イメージ物語 6

テレビの健康情報番組を見ていると、ゲストで出演されていた先生が、心と体と食事の関係について分かりやすく解説されていました。家事をしながら見ていたので、肝心なところを聞き逃してしまいました。番組の中で、先生が書かれた本の紹介もありましたがタイトルもわからなくなっていましたので、お昼の散歩のついでに中央図書館に行って相談したところ、書名がわかりました。出版されたばかりの本でまだ図書館には入っていないとのことでしたので、リクエストをしました。先週、夫が県立図書館から取り寄せ依頼をしていた本が届いていましたので、ついでに借りて帰りました。

2. 施設規模

1) 人口による、指標を用いた施設規模の算出

新しい図書館に必要な面積、蔵書冊数、資料費、職員数について、「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準(報告)」の「参考資料数値目標の例」と「公立図書館の任務と目標」に基づき算出し、美祢市の図書館の現状と比較しました。

	「参考資料 数値目標の	「公立図書 館の任務と		美祢市の図	美祢市の図書館の現状		
	例」 による算出	目標」 による算出	市内3館の 合計値	美祢図書館	美東図書館	秋芳図書館	
延床面積 (m [®])	1, 850	1, 937	1, 348	901	111	336	
蔵書冊数 (冊)	116, 610	136, 130	184, 334	122, 654	30, 549	31, 131	
資料費 (千円)	21, 057	21, 543	5, 642	4, 810	410	422	
年間受入冊 数(冊)	8, 688	10, 934	3, 613	3, 031	288	294	
職員数 (人)	10	11	9	4	2	3	

※美祢市の人口 24,046 人 (2019 年美祢市統計書) として算出

2) 施設規模の目標値

美祢市全体の人口規模を基に、2つの指標により算出した施設規模、蔵書冊数、資料費、年間受入冊数、職員数、などを参考に美祢市立図書館の全体の延べ床面積、蔵書冊数、職員数について目標値を設定します。そのうち、先行して検討が進んでいる美東地域図書館、秋芳地域図書館は、基本設計で示された数値を前提にしています。2つの地域図書館と中央図書館を合わせて適正な規模を設定していくことが重要であると考えています。

	市内3館の 合計値	美祢図書館	美東図書館 ※新総合支所に 複合予定	秋芳図書館 ※新総合支所に 複合予定
延床面積(㎡)	検討中	検討中	150	150
蔵書冊数 (冊)	検討中	検討中	30, 000	30, 000
職員数(人)	検討中	検討中		

また、今後、中心市街地において市民の暮らしの利便性の向上を図る上で、関連する 他の公共施設などとの複合化の検討も進めていく必要があると考えています。複合化の 検討がこれからという段階では、図書館のみの施設規模について方針を決定することは 難しいといえます。引き続き、次の段階でも検討が必要であると考えています。

3. 中央図書館の建設場所

1) 中央図書館の建設場所に求められる要件

これからの美祢市民のくらしにとって重要な役割を担うことが期待される図書館は、 中心市街地の今後のまちづくり活動の拠点としての役割も担っているといえます。

したがって、どこに建てるかは、極めて重要な意味を持つことになり、大まかに以下 の要件を満たすことが求められていると考えられます。

① 立ち寄りやすいこと

子どもから、子育て世代、小・中・高生、現役で活躍する大人やお年寄りまで、いろいろな世代の方々が、立ち寄りやすく、集まりやすい位置に建てることが望ましいといえます。

また、車での利用が大半であるため、駐車場が確保しやすいことも重要です。

② 中心部の賑わいを創り出すきっかけとなること

美袮駅や、新しく建て替わる市役所などの公共施設と連携しながら、美袮市の中心 部に新しい人の流れをつくり出し、賑わいをつくるきっかけとなることが必要です。

③ 川や緑などの自然環境を活用できること

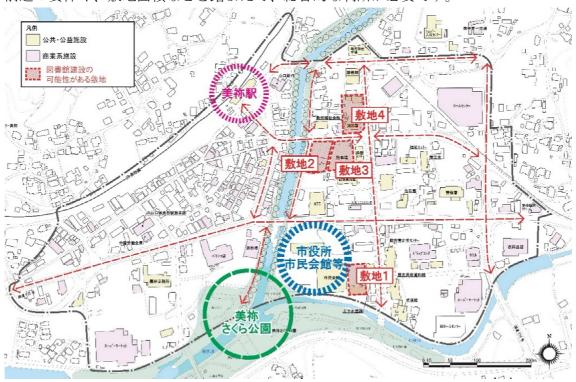
厚狭川の流れや、土手の桜並木、桜公園などの自然環境をいかし、豊かな空間をつくることができる場所に建て、独自の魅力をつくることが重要です。

④ 他の施設に近いこと

他の公共施設や、商業施設、郵便局、コンビニなどと近い場所にあり、利用上の利便性が確保されていることも必要です。

2) 中央図書館の建設の候補となる敷地

中心市街地において、建設可能な敷地の候補は、図に示す場所です。敷地の選定は、前述の要件や、敷地面積などを踏まえて、総合的な判断が必要です。



建設の候補となる敷地の特徴

建設(の候補となる敷地	特徴				
敷地 1	現在の美祢図書館 敷地周辺	○ 新しい庁舎や他の公共施設、美祢さくら公園比較的近い × 現在の図書館の解体から、新しい図書館の完成まで、一時的に 仮設図書館が必要となる △ 駐車場が庁舎と共有になり、不足する恐れがある				
敷地 2	旧丸和スーパー跡地	○ 厚狭川沿いの桜並木に隣接することができる ○ 美祢駅から近く、列車通学の学生が利用しやすい △ 敷地面積や駐車場の確保が必要となる				
敷地3	吉則駐車場	○ 美祢駅から近く、列車通学の学生が利用しやすい △ 敷地面積や駐車場の確保が必要となる △ まちなかの駐車場が不足する				
敷地 4	旧美祢消防署跡地	○ 美祢駅から近く、列車通学の学生が利用しやすい× 旧美祢消防署の解体工事が必要となる△ 駐車場確保が必要となる				

○:利点、△:検討しなければならない課題、×:欠点、を示す

3)他の機能との融合、複合化の検討

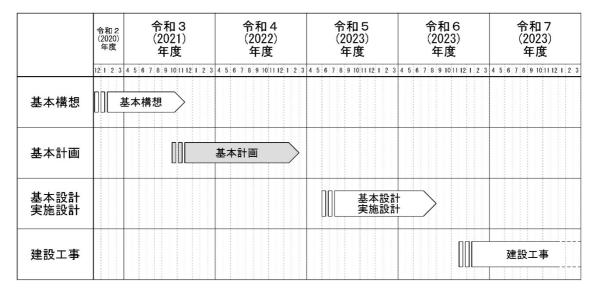
美祢市民のくらしの身近に寄り添う図書館は、社会教育施設、福祉施設など、関連する他の機能と融合したり、複合化したりすることで、利便性がより高まり、中心市街地の賑わいの再生にもつながることが期待できます。今後、まちづくりの視点を踏まえ、建設場所、及び、複合化のあり方など総合的な検討を加える必要があると考えられます。

4. 概算事業費

	床面積(㎡)	工事単価(千円)	概算工事費(千円)
建築本体工事	検討中	検討中	検討中
備品(書架、家具)	検討中	検討中	検討中
	検討中		

施設規模については、人口による指標に基づく目標値として算出される面積を目安に、 今後、施設の複合化など、まちづくりの視点から総合的に検討する必要があります。現 時点では、図書館単独の整備ではなく、まちづくりの核として他の機能と融合した複合 施設として整備する可能性が高いため、更なる検討を重ねないと、概算の事業費の算出 は困難と考えています。

5. 整備スケジュール



整備スケジュールについては、基本構想に引き続き基本計画策定作業に入る予定です。 しかし、図書館は、中心市街地の今後のまちづくりを進める上で大きな役割を担うこと が期待される施設であるため、他の公共施設などとの融合、複合化などについても検討 が必要であり、ひとつひとつ、丁寧に議論を積み上げて、着実な整備計画を進めていく 必要があると考えています。したがって、その後のスケジュールは、流動的な部分もあ ります。

第4章 新しい美祢市立図書館の運営・管理に関する考え方

1. 図書館の運営方式

図書館は、地方自治の本旨に基づき、誰もが気軽に安心して利用でき、市民生活に役立つサービスや資料の提供がなされるような運営が基本となります。図書館の運営方式については、大きく、直営方式と指定管理方式が考えられます。

〇直営方式

運営の全てに関して、美祢市が主体的に関わる方式である。運営スタッフは、基本 的に市の職員で当たる方式

〇指定管理方式

地方自治法 244 条改正による指定管理者制度に基づき、市が指定管理者を選定し、 条例に基づき施設管理を民間団体に委託する方式

2. 図書館運営の基本要件

図書館の運営に関しては、以下に示す内容が実現できているかが、重要となります。 その上で、いずれの運営方式が最適なのかを判断することが必要です。

① 図書館設置の目的を達成できるか

・利用者のニーズを捉え、満足度が高まるようなサービスや運営が期待できるかどうか。

② 生涯学習のための教育機関としての機能を維持できるか

・必要な職員を配置し、継続的・安定的に教育機関としての機能や活動を提供できるかどうか。

③ 他の図書館等や、ボランティア活動との連携・協力が十分に行えるか

・県立図書館や他の自治体の図書館、国立国会図書館、大学図書館、小中学校図書館と の連携が十分行えるか。また、ボランテイア活動との連携協力ができるかどうか。

④ 図書館としての事業の継続性が確保できるか

・一貫した方針のもとに資料・情報提供サービス、及び、蔵書管理ができるかどうか。

⑤ 中立性・公平性が確保できるか

・読書や図書館利用に関する秘密を保護し、障がい者、外国人など図書館利用困難者へ のサービスが提供できるかどうか。

⑥ 無料の原則は維持できるか

・図書館法による無料の原則を維持し、基本的サービスを提供できるかどうか。

3. 運営方式の比較

運営方式選定上の判断基準となる上記5項目を基に、いずれの方式が望ましいかについて比較検討します。図書館の運営方法について「直営方式」「指定管理方式」のそれぞれの長所や短所、課題の比較を以下の表に示します。

		直営方式		指定管理方式
概要	・運営 たる ・維持	・自治体が主体的に運営管理を行う方式 ・運営スタッフは基本的に市の職員であたる ・維持管理等の一部(清掃や管理)を業 務委託することが可能		5自治法 244 条改正による指定管理 別度に基づき、市が指定管理者を選 ル、条例の基づき指定管理を民間団 三委託する E管理の契約期間は約3~5年
①図書館設置の目標を 達成できるか		市民と協働で作成した基本構想の 方針に基づき運営が行われる 行政特有の規則等により、柔軟性に 欠けることがある	0	指定管理者が行政が策定した、方針 等の趣旨を十分に理解し、実施する 必要性がある 民間のノウハウを活かすことがで きる可能性がある
②生涯学習のための教育 機関としての機能を 維持できるか	0	方針を明確にすることで、教育機関 との長期に渡って、継続的な公的サ ービスの連携が可能	Δ	教育機関との連携を契約段階で盛り込むことは可能であるが、運営を行う中で、柔軟に新たなサービスの拡大を期待することは難しい
③他の図書館等や、ボランティア活動との	0	行政が管理する美東図書館、秋芳図 書館と同じ管理区分となるため、連 携が行いやすい	Δ	美東図書館、秋芳図書館は行政が権 利を行うため、連携が取りづらい可 能性がある
連携・協力が十分に 行えるか		公共の組織として協働の観点から ボランティアの受け入れ体制を長 期的に整えられる		期限内の契約となるため、ボランティアとの信頼関係が築けるか不安 が残る
④図書館としての事業の	0	管理に関する条例施行に基づき、図 書館事業を確実に行う	0	民間のノウハウを活かすことがで きる可能性がある
継続性が確保できるか	0	一貫した方針のもと、長期的に選書 を行うことができ、ノウハウの蓄積 や資料、情報提供が可能	Δ	期限内の契約となるため、ノウハウ の蓄積や、継続的な選書が行われな い可能性がある
⑤中立性、公平性が確保	0	自治体職員によりサービスが行わ れるため、監督を必要としない	×	公のサービスの理念を共有しない ため、事業について、自治体による 監督が必要
できるか	0	住民のプライバシー保護が確保さ れる	×	住民のプライバシーついて、違反が ないか、自治体による監督が必要
⑥無料の原則は維持	0	図書館法による無料の原則が守ら れる	Δ	営利目的の運営方針や人員配置と なるため、学術性より、採算性が重 視される可能性がある
できるか	0	事業の安定性、継続性を保ちやすい - 	×	限られた予算の中では、サービスの 低下が考えられる

〇:運営上の利点、△:運営上の検討しなければならない課題、×運営上の欠点、を示す

上記の比較により、図書館運営における基本要件を満たすという観点からは、直営 方式が望ましいといえます。しかし、行政と市民が協働して行政運営を進めていくこ とが望まれている中で、美祢市にふさわしい運営の形を模索することも必要であると いえます。

4. 美祢システムの運営計画

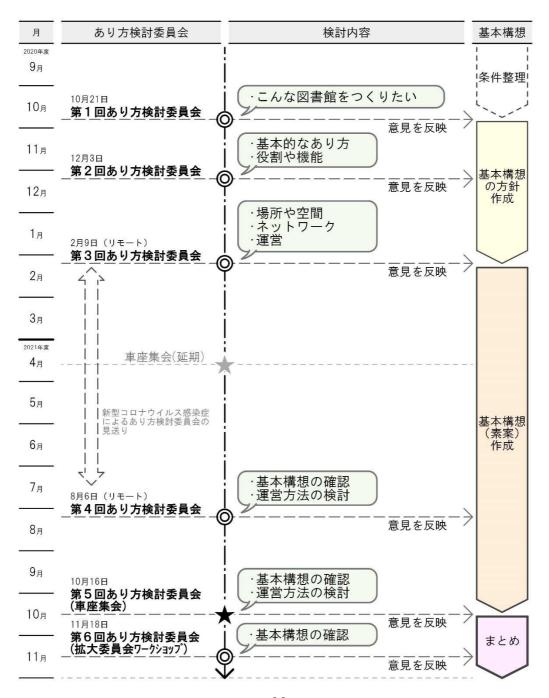
新しい美祢市立図書館は、第3章の1.の1)に示すように中央図書館と2つの地域図書館、および公民館図書室、小・中学校・高等学校図書室、幼稚園・保育園図書室などが、緊密な連携のもと、ひとつのシステム「美祢システム」として働き、市民の身近にサービスが行き届く図書館を目指しています。そのためには、多くの市民が、運営に主体的に、継続的に関わり、行政との協働による美祢市独自の運営方法をつくりあげていくことが必要であると考えています。

近年、他の自治体では、図書館づくりに関わってきた市民がNPOを組織して、指定管理団体として運営を担う事例なども見られます。直営方式か、指定管理方式かという単純な選択ではなく、直営方式をベースに多くの市民が力を合わせて運営に関わり、図書館を中心として美祢市民が豊かな暮らしを楽しんでいけるような運営の仕組みを確立したいと考えています。

<資料-1>

1. 美祢市立図書館基本構想の策定プロセス

美祢市立図書館あり方検討委員会では、広い視点から様々な意見を出し合い、美祢市に求められる図書館の姿を描きだすため、ワークショップ形式の協議の場としました。計6回のあり方検討委員会が行われ、第5回あり方検討委員会は、広く市民に開かれた自由に意見を出し合う車座集会として開催されました。あり方検討委員会と基本構想の策定プロセスを以下に示します。



2. 美祢市立図書館あり方検討委員会ワークショップの概要

ワークショップ形式で行われた、美祢市立図書館あり方検討委員会の検討内容と、出 された意見の概要をまとめます。

あり方検討委員会	日時	参加人数	検討内容		
第1回	10/21	14	・こんな図書館をつくりたい		
第2回	12/3	14	・基本的なあり方(理念)、役割や機能について		
第 3 回	2/9	13	・場所や空間、ネットワーク、運営について		
第4回	8/6	11	・基本構想の確認、運営体制の検討		
第5回(車座集会)	10/16	57	・基本構想の確認、運営体制の検討		
第6回 (拡大委員ワークショップ)	11/18	18 (一般市民 4 名)	・基本構想の確認、美祢システムについて		

第1回美祢市立図書館あり方検討委員会

2020, 10, 21

【詳細は資料編 p. 01 参照】

これまでの活動や経験の中で、図書館に対して感じていること、期待していること、 やってみたいことなどについて、自由に意見を出し合いました。



第1回あり方検討委員会の様子

ワークショップで出された意見

「こんな図書館をつくりたい」について出された意見

- ・市民ボランティアによる 参加型図書館
- ・誰でも気軽に入れる図書館
- ・図書館と学校の図書館が つながっているとうれしい
- ・美祢の歴史、他にないコーナー
- ・本を通じて同じ趣味を持つ人と 交流ができる
- ・何度でも来たくなる図書館

・知識が発展するような場所

- ・公民館、学校とのネットワーク
- 美術と芸術の融合
- ・地元のアーティストの発表の場
- ・市外の人たちも来たくなるよう な図書館
- ・子どもを救う場所、 若者の逃げ場所
- ・居心地が良い多様な居場所

出された意見を、5つの項目に分類しました。

- 1. 基本的なあり方(理念)に関わること
- 2. 役割や機能に関わること
- 3. 場所や空間に関わること
- 4. つながり・ネットワークに関わること
- 5. 運営に関わること

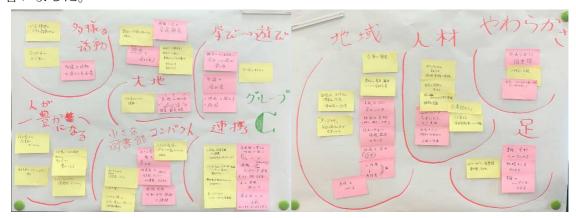
第2回、第3回あり方検討委員会では、項目ごとに掘り下げて議論を行いました。

第2回美祢市立図書館あり方検討委員会

2020, 12, 03

【詳細は資料編 p. 03 参照】

第1回あり方検討委員会での意見を基に整理された5つの項目のうち「1.基本的なあり方(理念)に関すること」「2.役割や機能に関すること」について、意見を出し合いました。



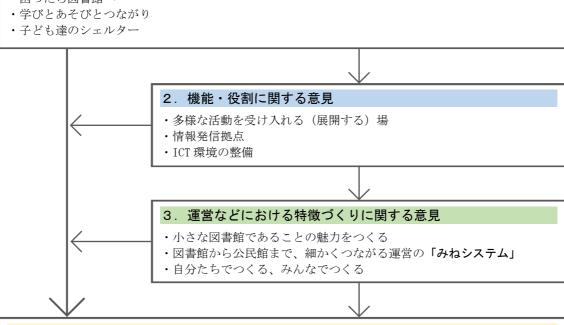
ワークショップで出された意見

出された意見を更に 4 つのステップに整理し、新美祢市立図書館づくりを進めるための筋道をつくりしました。

美祢市市立図書館づくりを進めるための筋道

1. 基本的なあり方(理念)に関する意見

- ・美祢のことを知る場所
- 困ったら図書館へ



4. 図書館を通して最終的に目指すものに関する意見

- 人づくり・人を育てる
- 人が豊かになる

第3回美祢市立図書館あり方検討委員会

2021, 02, 09

【詳細は資料編 p. 13 参照】

「3. 場所や空間に関わること」「4. つながり・ネットワークに関わること」「5. 運営に関わること」について掘り下げて、意見を出し合いました。



リモートで開催された第3回あり方検討委員会



ワークショップで出された意見

「場所や空間」に関わること

美祢市の中心市街地の現況図を基に、ふさわしい建設場所について協議しました。出 された意見を基に、建設場所に求められる主な要件を整理しました。



建設場所に求められる要件

- ① 立ち寄りやすいこと
- ② 中心部の賑わいを創り出すきっかけとなること
- ③ 川や緑などの自然環境を活用できること
- ④ 他の施設に近いこと

美祢市の中心市街地の現況図

「つながり・ネットワーク」や「運営」に関わること

実現したい、つながり・ネットワークや運営に関わることについて、協議した結果、 以下の3つのつながりに整理することができました。

人と人のつながり

(人材育成や世代を超えた交流)

- ・みんなでつくる
- ・人を巻き込む仕組み、人が集まる仕組み
- ・市民による子どもへの読書指導、 読み聞かせ
- ・ボランティア、人材育成
- ・ 司書の確保
- ・世代間交流ができる

情報のつながり

(情報ネットワークの強化)

- ・インターネットや ICT の活用
- ・バーチャル図書館
- 公民館や他の図書館との ネットワーク
- ・化石博物館や郷土資料館とのつながり
- ・学校図書館と図書館のシステムを つなぐ
- 病院などジャンルを超える
- まちの情報や観光情報に 触れることができる

<u>人と本のつながり</u>

(まちじゅう図書館) ・まち全体が図書館、移動図書館

- ・いろいろな場所で本の返却や予約 本の受け渡しができる
- ・本の宅配システム、本の福袋
- ・図書館まつり、
- 講座やイベントの開催
- ・図書館だよりの充実化 ・本のリクエストができる
- ・他市の図書館見学ツアー
- ブックトーク、ブックスタートなど教育との連携

第4回美祢市立図書館あり方検討委員会

2021, 08, 06

【詳細は資料編 p. 23 参照】

第4回美祢市立図書館あり方検討委員会では、これまでの検討を基に作成した「基本構想(素案)」についての確認と、「運営方法のあり方」について掘り下げて、意見を出し合いました。





リモートで開催された第4回あり方検討委員会

ワークショップで出された意見

「新しい図書館の基本理念、役割、取組、美祢システム」に関わること

基本構想(素案)についての方針を確認し、協議した結果、以下のような意見が出されました。



新しい図書館の構成図を基に、方針を確認、協議しました

基本理念について

- ・やや上から目線的な感じがする
- ・楽しい居場所としてのコンセプトが弱い

役割について

- ・いつでも、だれでも、気軽に入りやすい図書館
- ・地元住民が楽しめる場となるべき
- ・博物館との連携や住み分けが必要

取組について

- ・司書、人材、予算の確保が必要
- ・高齢者など、地域包括ケアでの位置づけが必要
- ・図書館のPRをしっかりとしないといけない
- ・歴史などの資料をしっかり保存してほしい

美祢システムについて

- 美祢しかない図書館システムとしたい
- ・小、中学校、保育園、幼稚園などとの連携がで きるとよい
- ・美祢図書館、美東図書館、秋芳図書館のそれぞ れの特色、役割を明確にしないといけない
- ・何ができるようになるのか、具体性が見えない

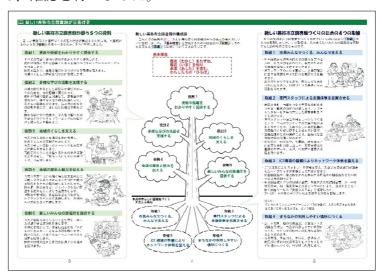
第5回美祢市立図書館あり方検討委員会(車座集会)

2021, 10, 16

【詳細は資料編 p. 49 参照】

第5回美祢市立図書館あり方検討委員会は、広く一般の市民から自由に意見を出し合 うために、車座集会として開催しました。これまでのあり方検討委員会から出された意 見を基に作成した、基本構想の中間報告を行い、「新しい図書館の基本理念、役割、取 組、美祢システム」等について、確認を行いました。





一般の市民が自由に参加

基本構想の概要資料を配布



市民ホールで開催し、多くの市民が自由に参加した



車座集会で出された意見

基本構想について確認し、協議した結果、以下のような意見が出されました。

図書館のあり方について

- ・他の公共施設の機能との融合や複合化によって、 美祢市の利便性の向上や賑わいにつながるのでは
- ・誰でも気軽に、用がなくても立ち寄れる居場所
- ・夢を語れる大人が図書館を通じて広がっていくと、 まちも盛り上がっていく

美祢システムについて

- ・学校図書館支援センター、もしくは、子ども読書支 援センターの役割を果たすと良い
- ・県立図書館や周辺の市立図書館と連携し、市の境を 超えた連携が必要

人材の確保について

- ・人材と事業費をしっかりつけることが非常に大事
- ・司書のような専門的な人材だけでなく、イベントな どの演出ができる人材の確保
- ・レファレンスなどを手伝うボランティア集団をつく るのはどうか

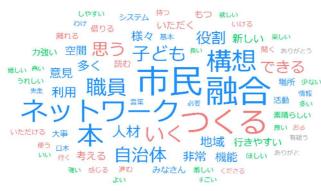
今後の進め方について

・美祢システムの構築は今できることからはじめて、 小さなイベントなどで少しずつ図書館づくりを発信 すると、図書館に対しての思いを持ってくれる人が 多くなる

第6回美祢市立図書館あり方検討委員会(拡大委員会ワークショップ) 2021.11.18

【詳細は資料編 p. 52 参照】

第6回美祢市立図書館あり方検討委員会は、委員に加えて、一般市民も自由に参加できる、拡大委員会ワークショップとして開催されました。車座集会での意見を反映した基本構想の内容の確認を行いました。また、これから新しい図書館サービスである「美祢システム」をつくりあげていくためのアイディアを出し合いました。







ワークショップで出された意見

車座集会で出された意見を反映した、基本構想(案)について、内容を確認しました。これから「**美祢システム」**をつくりあげていくためのアイディアとして、以下のような意見が出されました。

<u>人材バンク、人材ネット</u>ワークづくり

- ・図書館の手伝いをしてくれる人材バンクのリストを つくる
- ・いろいろな人を巻き込む仕組み、みんなでつくる意 識を持つ、人材を発掘する
- ・図書館とボランティアスタッフがしっかりと連携で きるネットワークづくりが必要
- ・ボランティアスタッフでも本の貸し借りを取り扱えるように、(利用者のプライバシーに配慮)システムの自動化を行う

イベントで図書館をアピール

- ・イベントで新しい図書館をつくることをたくさんの 人に知ってもらう、関心を持ってもらうことが重要
- ・イベントに図書館が本を貸し出す、出前図書館
- ・夜の図書館や図書館キャンプなどの開催
- ・図書館の使い方講座を開催すると、図書館利用が高まるのではないか
- ・「本と○○」でイベント(本と料理、本と野草、など)
- ・図書館だよりを充実化し、新刊情報などを分かりや すくしてほしい
- ・簡単に図書館利用登録ができるようにする (イベント先で図書館利用カードが発行できるなど)

すべての人が使いやすい図書館システム

- ・市立病院への本の団体貸出を行う
- ・商業施設や駅などに返却ボックスの設置し、いろい ろなところで、本の貸し借りができる
- ・本の配送システムを工夫する
- ・移動図書館があると、遠方に住む人も利用できる
- ・各学校図書館の蔵書が把握できるシステム
- ・学校図書館への貸出は資料の授業に合わせてパッケー ジ化をすると使いやすくなる

図書館利用のニーズを把握する

- ・みんなの思いのこもった選書や資料集めができたら いいなと思う
- ・現在の図書館は開館時間が短いため、本を借りたく ても、利用できない(夜間も開館していてほしい)
- ・蔵書のあり方や、空間の作り方など、アンケートで 市民のニーズを把握することが必要
- ・書籍の注文ができるとよい

テーマパークのような図書館

- ・ただ本を借りる場所ではなく、自然と人が集まる場 所になるとよい
- ・本に出会え、本を通じていろいろな人と出会える図 書館が美祢市を元気にさせるツールとなる

<資料-2>

山口県内の市町の図書館状況の一覧

「日本の図書館 統計と名簿 2020」に記載されている、山口県内の 18 市町の図書館の状況と平均値を以下に示します。市町内に複数図書館がある場合は、合計値としています。

No.	市町名	人口 (千人)	登録者数 (千人)	蔵書数 (千冊)	貸出数 (千点)	図書購入費 (千円)	職員数 (人)
1	下関市	264	131. 1	749	1, 124	47, 449	87
2	山口市	192	167. 1	733	1, 291	50, 899	84
3	宇部市	165	107. 3	409	1, 209	29, 941	40
4	周南市	144	97. 2	700	866	40, 353	73
5	岩国市	135	55. 7	652	1, 031	45, 672	73
6	防府市	116	40	495	538	30, 802	27
7	山陽小野田市	63	51	344	317	13, 449	26
8	下松市	57	45. 3	223	551	28, 642	17
9	光市	51	12. 5	198	234	15, 207	18
10	萩市	48	22. 6	264	289	15, 045	32
11	長門市	34	22. 7	189	160	10, 178	15
12	柳井市	32	24. 3	112	91	4, 911	15
13	美祢市	25	4. 8	184	69	7, 774	9
14	周防大島町	16. 3	12	204	63	5, 496	18
15	田布施町	15. 4	15	93	62	3, 582	7
16	平生町	11. 9	7. 8	73	57	3, 739	9
17	和木町	6. 4	11. 4	72	66	6, 269	4
18	上関町	2. 8	0. 6	12	3	819	3
	平均値	76. 6	46	317	446	20, 013	31



美祢市立図書館基本構想

美祢市教育委員会 生涯学習スポーツ推進課 〒759-2292 山口県美祢市大嶺町東分 326-1

TEL: 0837-52-5261 FAX: 0837-52-2562